

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター						
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	6	4	2	8	0	8	0	14
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和 年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	1	2	1	1				

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和 年度	備 考
延利用者数（人）	6,080	5,982	6,194	6,030		

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	86,753,405	90,644,109	90,145,914	87,343,500	0
	指定管理料（清算後）	30,459,353	31,830,788	32,491,595	31,645,511	
	利用料金収入	55,928,389	55,043,566	56,660,435	54,882,148	
	その他収入	365,663	3,769,755	993,884	815,841	
	支出	95,944,746	101,738,038	101,667,342	102,957,280	0
	職員人件費	57,368,278	60,962,734	63,975,557	63,926,749	
	光熱水費	5,844,755	5,478,867	5,274,082	5,112,943	
	修繕費	1,234,585	2,994,368	565,092	1,234,882	
	事業運営費	14,296,927	14,632,554	14,641,481	14,783,685	
	施設管理経費	17,019,201	17,522,015	17,089,480	17,797,021	
	その他経費	181,000	147,500	121,650	102,000	
	差引収支額	-9,191,341	-11,093,929	-11,521,428	-15,613,780	0
年度協定書で定める指定管理料		31,985,260	31,858,660	35,078,339	35,897,102	

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点						74 / 90

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	施設の維持管理については、同じ館の他の事業者と定期的な会議等で連携を図り、適切に対応しました。事業運営については職員の退職は1名のみであり、区の基準を満たした人員配置で運営しました。送迎車の事故が1件発生しましたが、同様の事故を起こさないよう、再発防止の取組を継続していきます。サービスの向上については施設独自のアンケート実施やプログラムミーティングを行い、工夫を行いました。改善が必要な点があり、新たな取組が必要だと考えています。令和6年度は新規利用者数よりも取り下げ利用者数が多く登録者が減りましたが、今年度は登録者が12名増加し、年度後半より稼働率が少しづつ増加しました。ボランティア等の受入れは例年どおり多く、今後も地域の中で信頼される施設運営を目指していきます。
区（施設所管課）による評価	居宅介護支援事業所への働きかけやプログラムの見直しにより、利用者数の確保や稼働率の向上に向けた取組が行われている点は評価できます。また、感染症発生時や車両事故発生時においても、迅速かつ適切に対応し、施設運営を継続した点についても評価できます。一方で、利用者満足度の更なる向上に向け、プログラム内容や提供方法について継続的な見直しを図るとともに、再発防止策について確実に実施していくことが求められます。今後も、地域の高齢者の拠点として、安全・安心な施設運営を継続できるよう取り組むことを期待します。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）